

「高度医療・人材育成拠点」の整備に向けた取組状況について

1 要旨・目的

全国トップレベルの高度医療の提供や医療人材の育成等の機能を持つ「高度医療・人材育成拠点」（新病院）の整備に向け、令和 5 年 9 月に策定した「高度医療・人材育成拠点基本計画」に基づく新病院の医療機能や施設整備等に関する取組状況等について報告する。

2 現状・背景

- (1) 高齢化に伴って、医療ニーズが高まる一方で、労働力人口が減少し、医療を支える人的資源が縮小するとともに、多数の症例や研修体制が充実している大都市圏の病院に若手医師や研修医の集中が加速することで、県内の医師不足が顕在化することが見込まれる。
- (2) 中山間地域においては、地方の基幹病院の医師不足により、サービス供給停止・縮小を余儀なくされ、都市部に比べてより速く、医療基盤の維持が困難になることが予想される。

【新病院開院までの流れ】 ※ スケジュールは現時点の想定

拠点ビジョン → 基本構想 → 基本計画 → 基本設計 → 実施設計 → 建設工事 → 開院
2022 年 3 月 2022 年 11 月 2023 年 9 月 2024～2026 年 2026～2030 年 2030 年

3 概要

(1) 対象者

県民、医療関係者等

(2) 実施内容（取組状況）

ア 高度医療・人材育成拠点推進会議

高度医療・人材育成拠点の構想に関して、関係者間での情報共有・意見交換等を行うため、第 2 回会議を開催し、新たに設立した地方独立行政法人広島県立病院機構について説明を行った。

【構成員】基幹病院、各種指定医療機関、再編対象医療機関、医療関係団体、職能団体、診療科医会、圏域地対協、行政機関（97 機関）

【開催日】第 2 回会議（令和 7 年 4 月 22 日（火）Web 開催）

【主な説明事項】地方独立行政法人広島県立病院機構について

【主な意見】

区 分	内 容
地方独立行政法人 広島県立病院機構 の取組について	・医療 DX の推進について、広島県内の基幹病院間での情報共有など、データ活用が今後の検討事項になるので、引き続き情報共有いただきたい。 ・断らない救急の体制づくりには、人数の確保だけでなく、救急になるべく断らないというマインドも大事である。

イ 地方独立行政法人広島県立病院機構の取組

(ア) 経営改善に向けた取組状況

県立病院の経営改善に向けて、意識改善と弱点の克服を目的とした取組を進める。

【現在着手等している取組】

項 目	内 容
組織風土の一体感の醸成と経営感覚の涵養	・ ミッション・バリュー・ビジョンの策定に向けて、法人職員へのアンケートを実施（4月30日より）
収支の分析	・ 収支分析の精緻化に向けた手法の検討
診療体制の強化	・ 休棟中の病棟の早期再開に向け看護師を公募（5月2日公募開始） ・ 診療科別のヒアリングを実施（5月7日から順次実施） ・ 広島大学と連携した診療体制の検討 ・ 病院間の人材融通による効率的な診療体制の検討 ・ DX の導入検討 ・ 看護業務の効率化に向けて他病院の手法を研究
医療連携の強化と稼働率の向上	・ 紹介時対応の改善を検討 ・ 後方病院の確保に向け、地域連携室の強化について検討
投資案件の見える化・適正化	・ 高額投資の費用対効果について精査
戦略的広報	・ 既存の3病院のブランディングについて検討

(イ) 現代美術作品「命」の寄贈について

前衛書道家の藤村満恵氏より現代美術作品の寄贈があり、贈呈式を実施する。

【日時】令和7年5月29日（木）14：00～

【場所】県立二葉の里病院 2階ラウンジ（設置予定場所）

【出席者】寄贈者 前衛書道家 藤村 満恵

主催者 広島県立病院機構理事長 粟井 和夫

県立二葉の里病院病院長 工藤 美樹

同 席 広島県健康福祉局長 北原 加奈子

【寄贈品】現代美術作品「命（いのち）」（サイズ：180 cm×360 cm）



(3) 予算額（一部国庫）

令和7年度当初予算額 67,073,308 千円（債務負担行為額 1,249,000 千円）

(4) その他

高度医療・人材育成拠点の整備について（広島県 HP）

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/276/koudoiryou-jinzaiikuseikyoten.html>

（※高度医療・人材育成拠点基本計画や基本構想、各種会議資料などを掲載）



地方独立行政法人広島県立病院機構について（法人 HP）

<https://hpho.jp>

（※機構概要、病院紹介などを掲載）

